

宮崎大学 420 単位時間日本語教員養成プログラム

公開講義のご案内

日頃より宮崎地域の日本語教育につきましてはご関心をたまり感謝申し上げます。

宮崎大学では、2019年8月より「宮崎大学 420 単位時間日本語教員養成プログラム」を開講しており、現在は3期生 21 名の方が日本語教員を目指して受講されています。[\(https://jlittc.vss.miyazaki-u.ac.jp/\)](https://jlittc.vss.miyazaki-u.ac.jp/)

本プログラムでは、県外から著名な講師をお招きしての特別講義を取り入れております。そこで、特別講義(全5回)に関しまして、「公開講義」として受講生以外のご関心ある方々にも受講いただく機会といたたく、ご案内申し上げます。

【公開講義 講師と内容】

第1弾および第2弾につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により、オンライン開催となりました。ご了承ください。

第1弾 「言語習得・発達」 講師：大関 浩美 先生 (麗澤大学 国際学部 教授)

日時：2021年9月25日(土) 10:00~15:55 場所：オンライン (ZOOM)

〈講師プロフィール〉 お茶の水女子大学人間文化研究科博士前期課程・後期課程修了。博士(人文科学)。アークアカデミー等の日本語学校非常勤講師、東京大学留学生センター特任講師を経て、現職。専門は、日本語教育、第二言語習得(特に、文法習得)。主な著書に、『日本語を教えるための第二言語習得論入門』(くろしお出版)、『第一・第二言語における日本語名詞修飾節の習得過程』(くろしお出版)、『フィードバック研究への招待』(編著、くろしお出版)、『日本語教育能力検定試験に合格するための用語集』(共著、アルク)がある。

〈講師からのメッセージ〉 「言語習得・発達」の授業では、外国語習得の「仕組み」について学びます。お医者さんにかかるとき、病気になる仕組みを知らないお医者さんには、かかりたくないですね。ことばを教える教師も、効果的な教育をするためには、言葉の習得の仕組みを知っておくことが必要です。「言語習得」というと、難しそうというイメージを持たれるかもしれませんが、ご自身が外国語を学ばれたときの経験と結び付けて考えると、「ある、ある」と実感できることも多い身近な分野です。ご自身の外国語学習の過程で起こったことを思い出しながら、楽しく学んでいきましょう。

第2弾 「コミュニケーション能力」 講師：李 曉燕 先生 (九州大学 共創学部 准教授)

日時：2021年10月23日(土) 10:00~15:55 場所：オンライン (ZOOM)

〈講師プロフィール〉 中国で日本語を学び、日本語言語文化の修士号を取得後、中国大連外国語大学で日本語教師に。来日した後、私大で非常勤講師をしながら文理融合の博士号(知識科学)を取得し、2013年より九州大学に赴任。2018年より現職。最近の興味関心は、第二言語習得における暗黙知の共有、平和につながる言語教育、チームベースの学際的な教育研究等。主著に『「多文化グローバルワーク」による言語と文化の創造学習—知識科学の視点から見るアクティブ・ラーニング』(単著)、『流行日本語最前線』(共編著)等。博報財団第10回「児童教育実践についての研究助成」優秀賞受賞。

〈講師からのメッセージ〉 人はだれしもこの世界とつながろうとして知識を蓄積し、再生産を繰り返しながら環境の変化に対応していきます。そのプロセスは知識創造であり、知識創造を支えているのはコミュニケーションです。言語・文化・コミュニケーションを知識科学の視点から考える科目を提供します。知識科学とは「知はいかに創造・共有・活用されるのか」を問う学問です。我々の日常生活を取り巻く多様な言語や文化をダイナミックな知として捉え、言語文化の習得と人間としての成長について、学生の皆さんと共に考えていきたいです。

第3弾 「音韻・音声Ⅰ」 講師：山田 敏弘 先生 (岐阜大学 教育学部 教授・基盤教育センター長)

日時：① 2022年1月8日(土) 10:00~15:55 場所：宮崎大学附属図書館3階 komorebi

② 2022年1月11日(火) 19:00~20:35 場所：オンライン (ZOOM)

③ 2022年1月13日(木) 19:00~20:35 場所：オンライン (ZOOM)

④ 2022年1月18日(火) 19:00~20:35 場所：オンライン (ZOOM)

〈講師プロフィール〉 名古屋大学大学院で日本語教育学を学び、1990年から3年間、イタリア・ローマ日本文化会館にて、国際交流基金派遣日本語教育専門家として日本語教育に従事。その後、大阪大学大学院にて博士(文学)を取得。2000年には大阪大学大学院時代の仲間と共に『初級を教える人のための日本語文法ハンドブック』(スリーエーネットワーク)を出版。2001年の中上級編とともに、今も多くの日本語教育関係者の必携書となっている。2001年から奉職する岐阜大学教育学部では、国語教育と日本語教育の融合を模索。『国語教師が知っておきたい日本語文法』(2004)、『国語教師が知っておきたい日本語音声・音声言語-改訂版』(2013)、『国語を教えるときに役立つ基礎知識88』(2020)(いずれもくろしお出版)など著作物多数。

〈講師からのメッセージ〉 多文化共生には、だれもが日本語に関する客観的基礎知識を持って、日本語を母語としないニューカマーが必要とする日本語の情報を届けられる社会の実現が重要と考え、日本語の母語教育である国語教育の面から、文法や音声教育に対する母語話者の意識改革を考えています。これからますます社会的な重要性を増す日本語教師は、単に個人の中に知識の蓄えを増やすだけでなく、その共生社会のセンター的役割を担っていく存在として活躍が期待される人材。日本語に関する知識を、よりよい地域社会の実現に結びつけていく方法を共に考えていきましょう。

第4弾 「音韻・音声Ⅱ」 講師：中川 千恵子 先生（國學院大學大学院 文学研究科 兼任講師）

日時：2022年1月22日（土）10：00～15：55

場所：宮崎大学附属図書館3階 komorebi

〈講師プロフィール〉 お茶の水女子大学で人文科学博士号を取得。日本語音声教育、特にイントネーションが専門。早稲田大学、他で留学生のための発音指導に従事。現在、國學院大學大学院で音声学を担当。著書に、『にほんご発音アクティビティ』『ひとりでも学べる日本語の発音』、他2冊。発音学習ツール「オンライン日本語アクセント辞書（通称OJAD）」の開発、「つたえるはつおん」動画作成に参加。

〈講師からのメッセージ〉 発音の学習は、時間不足や方法が分からないということを言い訳に行わないことが多いのですが、①難しく考えないで他の学習をしながら行うことも可能です。また、教室で学習が終わるわけではありません。学習者にその後の学習を②持続させることが大切です。さらに、学習者も教師も好みの学習スタイルや性格は様々ですから、③自分に合った学習・指導方法を選択することも大事です。以上の3点を遂行するには「自律的な学習者（教師）」になる必要があります。そのために何が必要かを提案するとともに、いっしょに考えたいと思います。

第5弾 「日本語教育の現状と歴史」 講師：平高 史也 先生（愛知大学 文学部 特任教授、慶應義塾大学 名誉教授）

日時：2022年2月19日（土）10：00～15：55

場所：宮崎大学附属図書館3階 komorebi

〈講師プロフィール〉 文学博士。東海大学留学生教育センター、東ドイツ・ベルリン・フンボルト大学などで日本語教育に携わった後、1990年から慶應義塾大学湘南藤沢キャンパス（SFC）で教育・研究に従事。専門は日本語教育、ドイツ語教育、社会言語学、特に日本語教育史、ドイツにおける移民に対する言語教育政策。主な編著書に『多言語主義社会に向けて』（くろしお出版）、『教科書を作る』（スリーエーネットワーク）、『日本語・日本語教育の研究—その今、その歴史』（スリーエーネットワーク）、『日本語教育史』（アルク）、『外国語教育のリ・デザイン—慶應 SFC の現場から』（慶應義塾大学出版会）『改訂版日本語中級 J301—中級前期—英語版』（スリーエーネットワーク）などがある。

〈講師からのメッセージ〉 かつて日本は海外で日本語を普及しようとして、植民地であった台湾と朝鮮半島や、中国大陸、東南アジア地域、南洋群島などで積極的に日本語教育を展開しました。このことが持つ意味は、すでに日本語教師として教壇に立っている方もこれから日本語教師になろうと考えている方も、忘れてはならないことだと思います。それは過去的一幕で済むことなく、私たちが生きる現在にも多かれ少なかれ関連しているからです。また、現在使われている日本語教科書や教授法、カリキュラム等も最近考えられたのではなく、過去の歴史の教訓が生きています。そのあたりについて、みなさんと一緒に考えていきたいと思っています。

【参加のお申し込み】

回数： 全5回 （1回からお申し込みできます）

※第3弾（山田 敏弘先生）に関しては①～④までが1セット

場所： 宮崎大学附属図書館3階 komorebi

※第1弾、第2弾、第3弾の②、③、④のみオンライン（ZOOM）

時間： 10時00分～15時55分（※一部オンライン）

19時00分～20時35分（※平日オンライン）

参加費： 6,000円/科目（資料代込）

内訳：（土曜日@1,000×6回）

※第3弾（山田 敏弘先生）のみ12,000円（資料代込）

内訳： 6,000円（土曜日@1,000×6回）、6,000円（平日@1,000×6回）

お支払い： 講義当日に現金でご持参ください。

新型コロナウイルス感染症の影響により、オンライン開催となりました回については、当日に参加費を現金徴収することができません。つきましては、恐れ入りますが、参加費用の支払い方法は、お振込みとなります。お申し込み後に振込先のご案内を差し上げますので、指定期間内に事前納付をお願い申し上げます。

お申し込み方法： 下の URL または右の二次元バーコードよりご入力ください。

<https://forms.gle/sFZEwCGKefYKjJSw7>

締め切り： 2021年9月17日（金）17:00

第2弾以降の講義について9/17以降にお申し込みの場合、ご入力後、末尾の担当までメールにてご連絡ください。

**留意事項**

- ・ 新型コロナウイルス感染症の影響により、オンライン開催となる場合があります。

土曜日の時間割

時刻	時間	内容
9:45		開室
10:00	0:45	授業1
10:45	0:10	(休憩)
10:55	0:45	授業2
11:40	0:10	(休憩)
11:50	0:45	授業3
12:35	0:45	昼休み
13:20	0:45	授業4
14:05	0:10	(休憩)
14:15	0:45	授業5
15:00	0:10	(休憩)
15:10	0:45	授業6
15:55		終了

平日（オンライン）の時間割

時刻	時間	内容
18:55		開室
19:00	0:45	授業1
19:45	0:05	(休憩)
19:50	0:45	授業2
20:35		終了

遵守事項

新型コロナウイルス感染症対応のため、下記にご留意ください。

- ・ 以下の場合は入構・入室・入館を禁止します。
 - 来館前に体温の確認を行い、発熱(37.5℃以上)があった場合
(会場で確認時に同様の場合、参加いただくことはできません)
 - 風邪症状のほか、息苦しさ、倦怠感、味覚・嗅覚異常などの症状があった場合
 - 過去 14 日以内に新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触がある場合
 - 過去 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等へ滞在(経由含む)した場合並びに当該地域等の在住者との濃厚接触がある場合
- ・ マスクを着用(ない場合は入室不可)。
- ・ 咳エチケットに気をつけてください。
- ・ 入室・入館する前に必ず手指の消毒を行ってください。
- ・ 教室では3密(密閉・密集・密接)状態を回避してください。(ソーシャルディスタンスの確保)

問い合わせ・連絡先

主催：宮崎大学国際連携センター

担当：伊藤、片瀬、城野

連絡先：jlffc@cc.miyazaki-u.ac.jp

(当日のキャンセル、参加申し込み締め切り後の申込み等については、メールにてお問い合わせください。)